

東京圏における都市鉄道の整備促進に関する意見書

東京圏における都市鉄道の整備は、昭和31年の都市交通政策審議会答申第1号をはじめ、過去8度の答申に基づき、着実に整備が進められ、世界的にみても高密度で、質の高い鉄道ネットワークが構築されてきた。

一方、近年、訪日外国人の増加、国際競争力強化の必要性の高まり、高齢化の進展など、都市鉄道を取り巻く環境は大きく変化している。これを踏まえ、交通政策審議会は、平成28年4月「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」を答申した。

同答申では、「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿を実現する上で意義のあるプロジェクト」として24の路線が示された。中でも、東京8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉）は、「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」とされている。

東京8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉）は、東京東部に速達性に優れた南北交通軸を形成し、特定都市再生緊急整備地域である東京臨海部へのアクセスを格段に向上させるほか、深刻な混雑状況にある東京地下鉄東西線をはじめとする放射鉄道路線の混雑緩和に大きく寄与するなど、東京の都市機能の高度化、並びに国際競争力の強化に不可欠な路線である。

よって、本区議会は、国会及び政府に対し、東京8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉）の早期実現に向けた支援策を講じるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成28年6月28日

江東区議会議長 堀川幸志

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣

} あて